



夏の日差しが輝き始め、いよいよ本格的な夏がやってきました(^o^)

ナゴム病児保育室では、この4月から保育園に通い始めたお子さんの入室が増えました。仕事を始めて、保護者の方も不安でいっぱいの中、子どもが病気をすると「どうしよう」「明日仕事を休めない」という方もおいでだと思います。そんな時、ナゴム病児保育室に気軽にご相談下さい。お父さん、お母さんのご支援ができるよう、少しでも病気の時が落ち着いて、安心して子供たちが過ごせるよう心がけて参ります。

さて、ナゴム病児保育室は、ひと頃の入室よりやや落ち着いてきました。

例年、夏の病気としていわれています手足口病・ヘルパンギーナ・アデノウイルス感染症についてご紹介したいと思います。

利用状況

4月・5月・6月での感染症は、手足口病・感染性胃腸炎・溶連菌感染症・ロタウイルス感染症・アデノウイルス感染症・感染性嘔吐症・ヒトメタニューモウイルス感染症・ヘルパンギーナ・水痘でした。

満室のため、ご希望の時間帯での受け入れができない場合があります、ご迷惑をおかけしております。

繁忙期には、朝7時30分～の電話予約は混み合い、繋がりにくくなっています。前日予約をお受けしておりますので、前日18時までにお電話下さい。

(注)夕方6時以降は、留守番電話になっております。留守番電話での予約は受け付けておりません。キャンセルの場合のみ、お名前とキャンセルの旨をお伝えください。

お部屋の様子

6月は手足口病の利用が沢山ありました。



手足口病のお部屋の様子です。皆、上手に聞けています

手足口病

主な症状

- 手のひら、足の裏、口腔内に水泡や赤みをもったブツブツ(丘しん)ができる。
- 38度前後の発熱。

予防・対応

- 排泄物からウイルスが排出されるためオムツ交換の時は十分気をつけましょう。手洗いを丁寧にしましょう。

登園基準

- 全身状態が良い子については、一般的な予防方法の励行などを行えば登園可能です。



ヘルパンギーナ

主な症状

- 39度前後の発熱をして、喉の奥に小さな赤い水泡ができ、痛みのため食欲が落ちる。
- 水泡が破れると喉の痛みが増し経口摂取の低下が起こります。

予防・対応

- 丁寧に手洗い、うがいをしましょう。

登園基準

- 主症状が消失し全身状態が良ければ登園可能です。



アデノウイルス感染症

主な症状

- 咽頭結膜熱:プール熱とも呼ばれている。
5日ほど続く高熱、喉の腫れ・発赤・痛み、眼の充血があります。
- 流行性角結膜炎:眼の発赤・流涙・眼やに・があります。
- 感染性胃腸炎:発熱し、下痢・嘔吐・腹痛があります。

予防・対応

- 流行り始めたら、手洗い・うがいをしっかり行います。
- プール後はしっかり眼を洗います。

登園基準

- 主症状が消失し2日を経過すれば登園可能です。

